広報 にのみや
第227号　発行日　11月10日
編集　二宮町広報編集委員会
発行　二宮町企画課　二宮961番地　電話71－3311

町民憲章
1．幸せを願い　健やかな
明るい二宮町をつくりましょう

ふるさとまつり今年も盛大に

手づくりによる秋の祭典

これからも町ぐるみで

九月三十日の畜産共進会（農林水産まつり・第一部）を皮切りに体育祭、文化祭、福祉のつどい、農林水産物展示品評会（農林水産まつり・第二部）、町民総ぐるみ交通安全推進大会、自治功労・善行表彰式などふるさとまつり参加行事が盛大に行われ幕を閉じようとしています。

これからもこの「ふるさとまつり」を町民の心に残る一大イベントにしていくため、今年のふるさとまつりを振りかえり、郷土にのみやを考え、この行事をみなさんとともに一層盛り上げていきましょう。

（関連記事二、三面に）

ワァーいろいろな魚がとれるんだね

町の農作物など紹介

24、25日公民館は超満員

今年のふるさとまつりのスタートを切った農林水産まつりは、畜産共進会（第一部）と農林水産物展示品評会（第二部）から成っています。

第一部の畜産共進会については九月三十日、中里西地区日鉱団地の入口で行われ、しぼりたての牛乳の試飲もあり好評を得ました。（先月号で掲載）

第二部の農林水産物展示品評会は十月二十四日と二十五日の二日間にわたり公民館を会場に盛大に行われました。

今回で九回目をむかえる農林水産物展示品評会も毎年好評を得ており、今年は①町内で生産された優良農産物の展示、②園芸試験場で生産された農産物の展示、③しいたけ原木の展示、④町内で水揚げ（生産）された水産物の展示、⑤農林水産物展示品の予約即売および直売などがありました。

会場には収穫の秋にふさわしく、豊かに実った二宮名産のみかんをはじめ落花生、柿、シイタケ、ネギなど町内で生産された農作物が昨年を上回る五六四点出品され、それぞれ品質を競いあったほか、近海もののマグロ、イサキなど生きのいい、いろいろな魚などが展示されました。なお品評の結果、優秀賞に二一点が決まりました。

二十四日、二十五日の二日間はともに会場は家族づれ、団体などで超満員で、みなさん一点一点ゆっくりご覧になり、子どもたちの中からは驚きの声が上がっていました。またなかにはノートと鉛筆をもち出品物をていねいに見入る熱心な小学生の姿もあり、この行事が町の農林水産業の現況を知る社会科の勉強の場ともなったわけです。そのほか移動水族館や、みかん、しじみのつかみ取りもありそれぞれたいへんな人気を呼んでいました。

今日の農・林・水産業などの第一次産業は国勢調査にみるようその産業人口は年々減少してきています。このため町では後継者の育成などを推進して第一次産業の保護に努めています。

みなさんも、減退しつつあるこの農林水産業を少しでも守っていくためにも、この農林水産まつりに一人でも多く参加して盛り上げていきましょう。

会場は熱気でムンムン

郷土愛を大切に

ふるさとまつりは十一月十五日までくり広げられますが、ここでいままでを振りかえってみましょう。

農林水産まつりでは町の農林水産業の現況をとらえることができました。体育祭では思う存分スポーツを楽しみ、「福祉」を考える福祉のつどいにおいては各種関係団体の協力によって大成功をおさめました。また交通安全の意識の高揚を図って町民総ぐるみの交通安全推進大会が盛大に行われ、民俗芸能のつどいをはじめ芸能・詩吟・謡曲大会などの文化祭が展開されてきました。これらの諸行事はみなさんの心に大切に残ることでしょう。

これからも、このふるさとまつりをみなさんの手で行っていくため、町民一人ひとりが「郷土愛」をもち「参加すること」を大切にしていきましょう。

ふるさとまつり
11月10日以降の行事

11月11日（水）8：30～17：00
俳句吟行会（箱根早雲寺）

11月15日（日）13：00～16：00
二宮合唱祭（二宮小学校体育館）

ふるさとまつりの主な記事
農林水産まつり（1面）
福祉のつどい、文化祭（2面）
総ぐるみの交通安全推進大会、自治功労・善行表彰式（3面）

福祉のつどい

連帯と扶助を基調

明るい町をともに築き上げる

子どもからお年寄りまでが会場に

町民の連帯感と相互扶助の心を高め、もって住みよい郷土をつくるために社会福祉の現況と施策の概要を紹介し、明るい二宮町づくりに寄与することを目的として、十月二十三日から二十五日までの三日間にわたり社会福祉センターで盛大に行われました。

この事業の協力団体は社会福祉に関係のある七団体や、梅花保育園、福祉協力校に指定されている町立中学校二校の参加により、福祉バザーおしるこ店、薄茶席、福祉作品展、功労表彰、福祉講演会、敬老式典に招待できない六十五歳～七十六歳の老人を招待して慰安激励大会を行い、また、健康相談、国民年金相談などのコーナーも設けられました。

今年は特に国際障害者年にあたって、障害者の理解を深めるために展示場を有効に活用していただき、展示品、活動状況が紹介され見学者の方々の御理解が得られました。

また二宮電報電話局からも応援にかけつけ、聴覚障害者などに使用が便利なミニファクス（手書き電話）の試験通話交信が行われ、多くの見学者の目に止まり好評のうちに終りました。

各種団体が積極的に協力

福祉バザーの収益金

福祉バザーで大勢の来館者によりお買上げいただいた販売品の収益は災害救援資金の一部として、また企業で雇用されない障害者が安心して働ける職場、愛の家「カンナ」の運営資金に役立たせていただきます。

社会福祉大会で功労表彰

社会福祉協議会では二十四日、永年福祉に功績のあった次の功労者、善行者を表彰しました。（敬称略）

○功労者表彰

民生委員　石井ヒサ子（下町）、高橋政治（元町）、井上千代子（一色）、松木満（元町）、北村政雄（上町）、故松木清（川匂）

保育園保母　朝倉静子（二宮）、相馬良子（二宮）、鐘ケ江恭子（梅花）

養護施設　乙部勇輔、玉盛ひろ子、山下スマ子

保護司　市川あぐり（下町）

里親　水島トミ子（元町）

物品寄託　金井うめ子（中町）

老人家庭奉仕員　上島ちよ（梅沢）

○感謝状

家庭介護人　杉崎たつ江（越地）、高橋綾子（百合が丘二丁目）

善意銀行へ寄託者　原直吉（中町）

二宮青果商組合、角沢幹雄（埼玉県入間市）、小澤勇（梅沢）、水島正恭（元町）、北澤美津枝（釜野）、八田秀（百合が丘三丁目）、前田順子（百合が丘三丁目）、地田啓介（中里）

これからもみなさんとともに福祉について考えていき、明るい社会を築き上げていきましょう。

民俗芸能、各種展示など

文化祭が華やかに

三つの会場でそれぞれ展開

町文化祭は郷土の文化を少しでも後生に残していきたいみなさんの一大イベントです。

今年も十月二十五日の民俗芸能のつどいを皮切りに、十月三十一日と十一月一日に書道展、また一日には詩吟大会、二日に史跡めぐり、菊、盆栽、石、華道、写真展、俳句、短歌、手芸展の各展示が、そして三日に芸能大会が行われ文化の華が大きく開きました。さらに七日、八日の二日間にわたって美術展が行われ、同じ八日には謡曲大会と囲碁大会もあり文化祭はピークに達しました。

文化祭の初日をかざった民俗芸能のつどいは二宮小学校体育館で開催され、昔から悪病ばらいに家々を回わったといわれている獅子舞など伝統的な民俗芸能が行われました。

十月三十一日と十一月一日の二日間にわたり公民館で書道展が開かれ小学生から一般社会人まで筆に自信のある方々の作品を拝見することができました。

二日、三日公民館で行われた菊、盆栽、石、華道、写真展ではみなさん御自慢の作品が展示され私たちの目を楽しませてくれました。

また三日には芸能大会が社会福祉センターで行われ、各団体による民謡、舞踊などがありました。

さらに七日と八日にわたり油絵、水彩画、水墨画などの美術展が開かれ文化祭も最高潮となり、大きな人気を呼びました。

この文化祭は十一日の俳句吟行会と十五日の二宮小学校体育館で行われる二宮中、西中学校音楽クラブなどによる二宮合唱祭と続きます。みなさんおさそい合わせのうえご参加ください。

町の文化祭をこれからもみなさんでくり広げていきましょう。

体育祭

お年寄りも力一杯

新種目を加え終始楽しむ

町体育祭は二宮中学校校庭で十月四日に開催され、約三五〇〇人の町民でにぎわいました。

この日は絶好の体育日よりで、八時三〇分には各地区の選手、役員、応援の人々が詰めかけ、はやくも会場は熱気につつまれていました。選手役員の入場行進に始まり、開会式では体育協会長等のあいさつに続き越地の藤田康元さんが力強く選手宣誓をして競技が開始されました。

今年は新たに誰れでも自由にその場で参加できる「長寿ジョギング大会」や町民歌のメロディーにのせて会場すべての方ができる「二宮町健康体操」などが行われました。

最後は呼びものの職域別リレー（決勝）、小中地区別リレー（決勝）と地区別リレーが行われ、各地区とも盛大な応援となりました。

なお優勝チームはつぎのとおりでした。

団体及び職域別リレー

男子　二宮中学校Aチーム

女子　二宮小学校チーム

小・中学生地区別リレー

男子　富士見が丘チーム

女子　百合が丘三丁目チーム

一般地区別リレー

町長杯　越地チーム

体協会長杯　一色チーム

教育長杯　梅沢チーム

「きれいネ」会場はためいきの声で一杯

長寿ジョギングでがんばる原（72歳）さん

自治功労・善行表彰式

文化の日に表彰された方々

功労者に森氏をはじめ九名
善行者に高橋氏ほか二名

十一月三日の文化の日に、社会福祉センターで自治功労・善行表彰式が行われました。

この表彰は永年にわたって町政の発展に寄与されその功績が顕著であった方、また町の各種産業、教育、福祉の面、さらに文化・芸術面など各分野においてその向上に努められ業績があった方、また町の財政に大きく協力をされた方などに対して行うものです。

今年は消防、教育、衛生、福祉などの各方面で寄与された方々一三名が表彰されました。

受賞者は次のとおりでした。

おめでとうございます。

（敬称略）

功労者

森　祥三　消防団員、町議会議員として活躍

脇　政雄　消防団員をはじめ、都市計画審議会・衛生処理審議会委員など永年にわたり活躍

川崎友太郎　消防団員として十四年間尽力、消防行政に協力

山口松義　消防団員、町政事務連絡委員（区長）など永年にわたり活躍

金子政次　社会教育委員をはじめ衛生委員、町政事務連絡委員（区長）など十年余にわたり活躍

西山欣造　衛生委員をはじめ町政事務連絡委員（区長）、社会福祉センター運営協議会委員として活躍

高橋政治　青少年問題協議会委員をはじめ福祉連絡委員（民生委員）として永年にわたり活躍

小沢シズ子　福祉連絡委員（民生委員）として永年にわたり活躍

井上千代子　福祉連絡委員（民生委員）として永年にわたり活躍

善行者

椎野一郎　町道路建設事業資金に二〇〇万円を寄付し町財政の運営に協力

高橋喜久次　町社会福祉事業に対し多額の金員を寄付し町財政の運営に協力

飯塚盈之助　町社会福祉事業に対し多額の金員を寄付し町財政の運営に協力

本大会の決議

人命尊重の立場から次の事項を実践し、交通事故のない明るい住みよい町づくりをまい進する

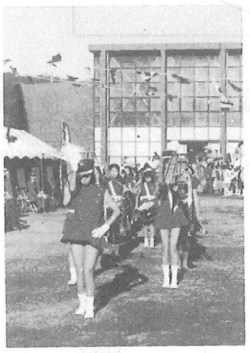
一、家庭、学校、職場などすべての場において交通安全意識を徹底する。

二、運転者は特に子どもと老人を交通事故から守るため安全運転を励行する。

三、歩行者は交通規則を守り、正しい歩行を励行する。

四、飲酒運転、暴走運転等無謀運転を追放する。

以上が決議されました。



（上）交通安全を願い大会宣言を読みあげる
（下）今年は会場内でも幼稚園児、小学校、スポーツ少年団の演奏およびレク協のおどりもありました。

総ぐるみ交通安全

交通事故を町から追放
街頭パレードで呼びかける

今日の県下の交通事故状況は、年々減少してきていますが、最近になってふたたび増加し、昨年ではみなさんの交通安全の願いもむなしく、もっとも痛ましい事故死が前年を二六名上回る三五五人の尊い生命が失われています。

幸にも町は交通量の多い国道、県道、町道等が町内を縦貫しているにもかかわらず、町民のみなさんの協力により死亡事故ゼロ件を一五三二日（十月八日現在）続けてきました。

町ではさらに全町民の交通安全を願い、町民一人ひとりの緊密な連帯をもとにして、交通安全意識の高揚と徹底を図り、みなさんが交通事故防止の決意を新たにし豊かな環境づくりにまい進するために、十月二十四日、二宮小学校校庭で町民総ぐるみ交通安全推進大会が多くの方々の参加により盛大に行われました。

この大会の中で各協力団体と地域住民による交通安全呼びかけの街頭行進が四班（右下図）に分かれて行われました。

第一班は一色、百合が丘、中里の各地区の方々を対象に県園芸試験場を、第二班は元町、富士見が丘、上町四の各地区の方々を対象に旧県道井上自転車店前を、第三班は上町一・二・三区、中町、下町の各地区の方々を対象に駅南口広場を、そして四班は山西、川匂の各地区の方々を対象に内原立体高架橋横をそれぞれ出発し、パレードしながら会場・二宮小学校校庭に集結しました。

式典は町議会議長のあいさつではじまり、大会の宣言・決議の採択、交通安全功労者と小学生交通安全ポスターコンクール入賞者への表彰などがあり、交通事故のない明るい町づくりに対する町民一人ひとりの意識の高揚がうかがえました。

交通功労者の受賞者は次のとおりでした。

（敬称略）

個人の部

大磯地区交通安全協会

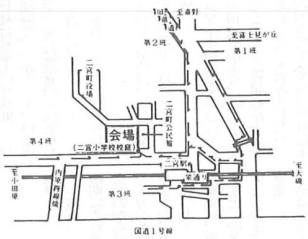
脇　政雄、露木　昭治

大磯二宮安全運転管理者会

宮戸　貞夫、一方井洋慶

団体の部

二宮町立山西小学校ＰＴＡ



二宮自転車商組合

なお小学生交通安全ポスターコンクールの入賞者については、先月号（二、三面）で掲載しましたのでご覧ください。

地域住民総ぐるみ体制で事故絶滅を

今年四月には東名秦野中井インターが開通し、これからも益々交通量の増加が予測され、交通情勢は極めてきびしい現状にあります。

このような状況の中で交通事故を絶滅し、健やかな明るい町にするためには、みなさん一人ひとりが自覚し、日常生活の中で緊密な連帯を保ちながら交通安全に心掛けなければなりません。

交通事故を一日も早く町から追放するために、私達は悲惨な交通事故の現実を直視し、強力な総ぐるみ体制のもとに交通安全運動を展開していきましょう。

県表彰

広報・交通関係で
一八名と二団体が受彰

広報委員大会で
松本氏ほか四名

十月十五日、寒川町民センターにおいて第二十三回湘南地区広報委員大会が行われました。

大会は湘南地区広報委員長連絡協議会の役員のあいさつではじまり式典、講演などが行われ、式典では表彰式があり、今回九名の広報委員が受彰され、このうち町から五名が表彰を受けました。

この大会は地区区長からなる広報委員に対して、広報全般を通して活躍され各地域に貢献された委員を表彰するものです。

表彰を受けた広報委員は次のとおりでした。

（敬称略）

松本　栄治（南新道）

佐藤　三郎（百合が丘一一一）
平野　好朗（百合が丘三一二）
岩崎　栄一（谷戸）
後藤　円蔵（越地）

交通安全功労者など一三名と二団体

また十月二十七日には、県立音楽堂（横浜市）において、県の交通安全功労者表彰式が行われ、町から次の一三名と二団体が表彰されました。

（敬称略）

知事表彰

交通安全功労者（個人）

脇　慎一郎

警察本部長表彰

交通安全協力者（団体）

二宮みどり幼稚園

警察本部長
交通安全協会長　連名表彰

交通安全功労者

北山　敏光　他二名

優良運転者　伊勢田　正　他六名

交通安全協会長表彰

交通安全功労者　宮戸　貞夫

安全運転管理者連合会長表彰

安全運転管理優良事業所　興電社

優良安全運転管理者　一方井洋慶

56年度 上半期の財政状況

一人当りの予算は13万5千円

昭和五十六年度上半期（四月一日～九月三十日）の町の財政事情と財政運営状況の概要をお知らせします。

これは、年二回以上みなさんにお知らせしなければならないことになっています。

一般会計

昭和五十六年度の当初予算は三五億二一〇〇万円でしたが、その後の六月補正予算で八五五三万三千円、九月補正予算で一億八〇七九万二千円をそれぞれ追加し予算総額を三七億八七三二万五千円としました。

予算の執行状況

三七億八七〇〇万円余の予算現額に対して九月末までの執行率は、歳入においては48・1％、歳出においては33・9％となり、前年度同期と比較してみますと、歳入は4・1％歳出では2・6％それぞれ増えています。（図―1参照）

町税収入の状況

町税の予算現額は一六億六九六六万円で歳入総額の44・1％を占めています。従って町税の収入状況の歳出における影響は大きなものです。

上半期の収入割合は58・1％でした。

住民負担の状況

予算と町税について、一世帯および人口一人当りで算出しますと（図―2）のような額になります。

なお、この算出に当っては、九月三十日現在の人口二万七八九〇人、同世帯数七八一七世帯を計算の基礎としました。

町債および一時借入金

町債は町内の各学校、し尿処理場道路、消防および厚生福祉施設などを整備するとき、その資金に充当した借入れ金です。九月末で国・県などから借入れた町債の未償還金額は、一九億九三九万円余となっていますが毎年度その返済を行っています。（図―3参照）

また、一時借入金とは手持ちの現金が不足した時などに借入れ、支払いに充てるものですが、資金の運営が良好であり、ここ数年来借入れはしていません。

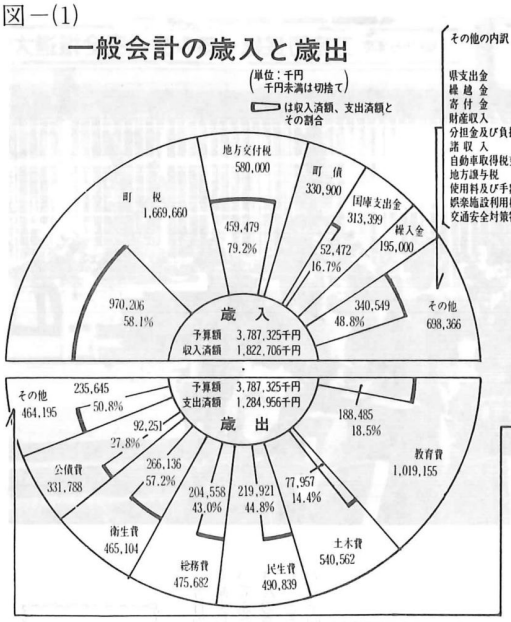
基金

多額な費用を必要とする学校、衛生処理施設の建設などに充てるための積み立て金で、積み立てや支出はすべて町議会の議決によって行われます。（図―4参照）

特別会計

国民健康保険特別会計と農業共済事業特別会計の九月末予算現額と執行額は（図―5）のとおりです。

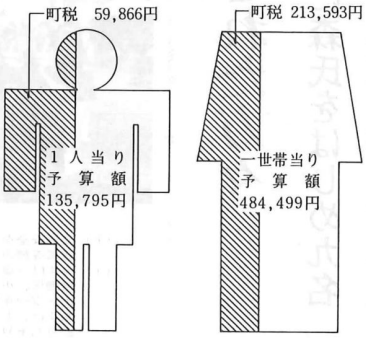
図―(1)



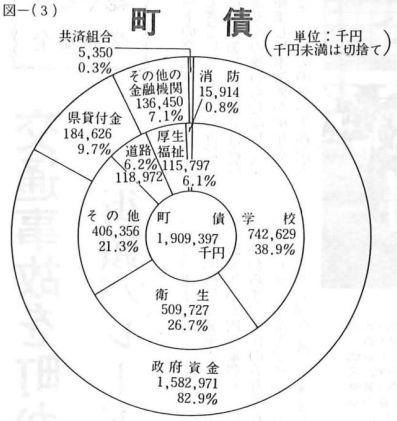
その他の内訳	予算額 千円	収入済額 千円	%
県支出金	167,866	32,000	19.1
繰越金	135,383	135,383	100.0
寄付金	122,903	37,920	30.9
財産収入	65,344	57,461	87.9
分担金及び負担金	45,494	22,381	49.2
諸収入	41,746	11,990	28.7
自動車取得税交付金	40,000	15,291	38.2
地方譲与税	33,700	8,452	25.1
使用料及び手数料	29,886	14,061	47.0
娯楽施設利用税交付金	13,000	5,607	43.1
交通安全対策特別交付金	3,044	0	

その他の内訳	予算額 千円	支出済額 千円	%
消防費	175,231	73,630	42.0
商工費	96,003	77,821	81.1
議会費	88,610	41,708	47.1
農林水産業費	72,262	42,115	58.3
予備費	31,624	0	-
災害復旧費	465	369	79.4

図―(2)



図―(3)



図―(4)　基金　（単位：千円）

基金名		昭和55年度末現在高	昭和56年度上半期増減分	昭和56年9月末現在高
衛生処理施設建設基金		46,888	0	46,888
義務教育学校建設基金		106,677	100,000	206,677
財政調整基金		25,178	3,000	28,178
合計		178,743	103,000	281,743
土地開発基金		61,566	0	61,566
内訳	現金	53,631	0	53,631
	土地	7,935 (666㎡)	0 (0㎡)	7,935 (666㎡)

図―(5)　（単位：千円 千円未満は切捨て）

国民健康保険事業特別会計

区分	予算現額	執行額	執行割合
歳入	633,208	279,235	44.1%
歳出	633,208	213,860	33.8

農業共済事業特別会計

区分	予算現額	執行額	執行割合
歳入	6,859	3,112	45.4%
歳出	6,859	1,431	20.9

園芸

十一月の家庭園芸

野菜

種まき　十一月上中旬にはエンドウがあります。エンドウには莢を食べる莢用エンドウと、子実を食べるむき実用エンドウがありますが、一般には莢用エンドウがよいでしょう。

莢用エンドウには草丈の一㍍位まで伸びる蔓有種と、草丈の五〇㌢位の蔓無種があります。

蔓有種は畦幅一㍍株間四〇㌢、蔓無種は畦幅一㍍株間三〇㌢の間隔で、一か所二～三粒まきます。肥料は普通の化成肥料を一平方㍍当たり二〇～三〇㌘入一握り〉元肥として施します。

ホウレンソウは、上旬に種まきすると二～三月にとれます。

定植

タマネギ苗の植えつけは十一月中旬までがよく、あまり遅くなると冬までに根張りが十分できないので、欠株を生じたり、発育不良で小球となったりします。元肥には一平方㍍当たり普通の化成肥料三〇～四〇㌘、ようせい燐肥三〇㌘、完熟堆肥一キロ㌘を施します。

春どりキャベツ苗は中旬頃までが植えつけの適期です。

管理作業

根深ネギの土寄せは軟白部を伸ばすための重要な作業で、葉の分岐点まで行います。結球したハクサイは葉を重ねて、結束して寒害を防ぎましょう。

果樹

収穫

「富有」、「次郎」など柿の収穫期に入ります。充分に着色したものから収穫します。

ミカンも早生、中生から始まりますが、着色に充分注意して収穫します。特に中生や晩生の貯蔵果は、果実を粗末に取扱いますと、貯蔵力が劣り腐敗の原因となります。

施肥

柿は収穫後ただちに施肥に入ります。下旬になると落葉してきますので、落葉の処理をしてから行います。施肥料としては年間施肥料の六割程度で、堆肥もこの時に施します。

花き

植えつけ

五～七月に開花する夏咲き小ギクは上中旬に株分けをして定植します。ヤマブキ、サクラ、ユキヤナギなどは植えかえ、または根廻しをしたものは来春の植えかえが順調にできます。

管理

春に植えた球根のダリア、アマリリス、カラーなどは株もとに厚さ一〇㌢位に土寄せして、冬越し中に痛まないようにしましょう。

バラは伸びすぎていると、見苦しいので刈位に軽く切りもどしておきます。本格的なせん定は二～三月です。

（県園芸試験場）

奥さん町の物価ご存じ？

生活物資価格調表

（二宮町　10月分）

No.	品目		量目規格	スーパー 最高	スーパー 普通	スーパー 最低	小売点 最高	小売点 普通	小売点 最低	平均	前月平均(=100)に対する指数
				円	円	円	円	円	円	円	
1	灯油		18ℓ 配達料込み	—	—	—	1,640	1,558	1,500	1,588	102.9
2	洗剤	合成洗剤	2.65kg入り	997	872	780	965	896	—	898	101.2
		粉石けん	3.0kg入り	910	831	—	915	878	690	845	99.4
3	トイレットペーパー		65m 4ロール（1枚巻き）	197	165	134	211	174	139	169	98.8
4	砂糖		上白 1kg	298	283	268	299	283	259	283	100.4
5	しょうゆ		1ℓ パック入り	328	261	249	311	269	250	269	98.2
6	小麦粉		薄力粉 1kg	210	192	177	210	192	175	191	99.5
7	サラダ油		700gパック入り	398	342	291	490	348	289	334	99.7
8	豚肉		肩ロース 100g	194	171	158	190	175	150	175	100.0
9	鶏卵		M1パック10個入り	287	248	220	288	252	215	258	114.7
10	プロパンガス		10㎥	—	—	—	5,140	4,673	4,296	4,838	101.3

十一月二十六日から 秋の全国火災予防運動

十一月から三月にかけての冬季は石油ストーブなどの暖房器具を使用することから、一年のうちで最も火事の多い季節となります。

十一月二十六日から十二月二日まで、秋の全国火災予防運動が展開されます。この運動は、火災の多発期である冬を迎えるにあたり、生命や財産を守るために、防火体制を整えみなさんも防火に十分心がけていただくために行われます。

町では、消防本部・署をはじめ各消防団等と協力し、巡回広報や移動タンク貯蔵所の検査、消防訓練などを行います。また、毎晩九時にサイレンが一分間鳴りますので、お休み前に火の元の点検をしてください。

ストーブは正しく使いましょう

秋も深まってきますとストーブがほしくなる頃ですが、ストーブによる火災が増え出すのも今頃からです。

火災には十分注意して次の事項を守りましょう。

①安全な場所に置く
○カーテン、ふすま、障子など燃えやすいものの近くに置かない。
（特にカーテンには注意を）

○出入口や階段付近等、倒れやすい所に置かない。
○狭いへやに置く場合、歩行のじゃまにならない所に置く。

②使用する前に
○使用説明書をよく読み、正しく使う。
○常に手入れをして、安全点検に心がける。

③正しい取扱いを
○火をつけたまま移動しない。
○ガソリンなど燃えやすいものは近づけない。
○石油ストーブの給油は完全に火を消し、専用のポンプで油量計を確認しながら行う。こぼれたものはすぐ拭きとる。
○子どもの手の届かないよう枠で囲うなど安全に注意する。

④あと始末も確実に
○完全に火が消えたことを確認する。
○電気を使うものは、コンセントからはずしておく。
○ガス器具は元栓をしめる。

人権法律相談を開催します

十二月四日から人権週間が始まります。

人権とは、一口に言えば社会で幸福な生活を営むために必要な人間としての固有の権利と言えます。

しかし、不幸にして人それぞれの考え方の相違から、家庭の中、隣人あるいは職場でいろいろな争いごとが生じます。

人権擁護委員はこうした人達に助言あるいは仲裁をして、みなさんが明るい住みよい社会をつくるよう努力をしています。

町では、みなさんが毎日の生活を営むうえで、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようになるのかわからないで困っている方のため「人権法律相談所」を開設しますので、ご遠慮なくお出かけください。

とき　十二月十七日（木）午前十時～午後三時
ところ　社会福祉センター相談室
相談内容　借地借家、交通事故、公害、その他
相談員　人権擁護委員と法務局職員
その他　費用は一切無料で、秘密は絶対守ります。なお、横浜地方法務局小田原支局では毎日相談に応じます。

なお、現在五人の方が人権擁護委員として活躍されています。

（敬称略）
高橋　政治（二宮一四三二）
添田　平三（二宮八三二）
渡辺正太郎（二宮一三四七）
杉崎　武男（山西七六四）
西山　ウメ（山西三六〇）

身体障害者等相談員が決定

身体障害者相談員と精神薄弱者相談員が十月一日に新たに決まりました。

この相談員の方々は、社会奉仕の精神に基づき神奈川県より委嘱され障害者の家庭における療育、生活等に関する相談から指導、助言に応じますので、お気軽におたずねください。

なお、つぎの方が新相談員です。

（敬称略）
○身体障害者相談員
西山　欣造（二宮一四六）
湯浅　文江（百合丘一―86―二）
○精神薄弱者相談員
小貫明佳美（二宮一四六一）
加藤　房子（百合丘二―4―一）

青少年創意くふう展を開催

青少年時代からつちかわれ養われる科学的な創意くふう心が、将来優秀な発明考案を生みだすものと考え広く青少年の科学心を高揚し、次代の産業と文化発展の担い手を育てるために、二宮町小・中学校生徒を対象に第四回二宮町青少年創意くふう展が行われました。

出品作品には、自由課題と特定課題の「自然エネルギーを利用した発明くふう」作品で、ふろ警報器、水力ベルや便利なまな板など家庭用品から将来石油に代わり自然エネルギーで作動できる作品が多数出品され審査の結果、次の作品が上位入賞しました。

（敬称略）
小学生の部
最優秀賞　「森のダンス」
西　房子（山西小六年）
優良賞　「太陽熱湯わかし器」
古沢　敦（二宮小六年）
中学生の部
最優秀賞「おつり受け取り器」
岸　仁（二宮西中一年）
優良賞　「電球まわし」
脇　直純（二宮西中三年）

なお、この四作品は十一月十四日から行われる、神奈川県青少年創意くふう展覧会に出品されます。

秋空のもと元気に 障害者（児）スポーツ大会

秋風が心地よく膚を通り過ぎる、十月十八日（日）晴天のもと、二宮小学校校庭において「身体障害者・児、精神薄弱者・児スポーツ大会」が開催されました。

視覚、聴覚、肢体それぞれの障害をのり越え童心にかえって「魚つり競走」「ねこかぶり競走」等を、肢体不自由児は車椅子等に乗って「ボールころがし」や、マットに横たわったり大きな障害物をくぐったりの「野をこえ山をこえ」、また知恵おくれの子供たちは友達を探しあてる「なかよしことよし」「輪なげ競争」ほかそれぞれ沢山の種目を、またお昼休みにはボランティア、付添者、父母兄弟等の「二宮音頭」「ドラエもん音頭」「炭坑節」の輪が広がりました。

障害を苦にすることなく、みんながひとつになって積極的に参加し、約二〇〇名が網がはずれんばかりの綱引きを最後に全二〇種目を終了し、類を高潮させ午後三時なごり惜しそうに帰路につきました。

元気よく「玉ころがし」を

交通安全テストの結果が発表される

秋の全国交通安全運動に伴う交通安全テストの実施結果が、去る十月七日に大磯警察署講堂内において発表されました。

問題は十問であり、運転者、自転車、歩行者向けにつくられたもので応募総数二三三通のうち、全問正解者は一一四人でした。

また、交通安全協会役員、大磯警察署交通課長、大磯、二宮両町職員立合いのもと厳正な抽選の結果、十名の方に賞品が贈られました。

二宮町在住在勤の方で三人が当選されました。

（敬称略）
○　脇　由美子
○　青木　重春
○　藤井　邦夫

名所・旧跡めぐり (23)

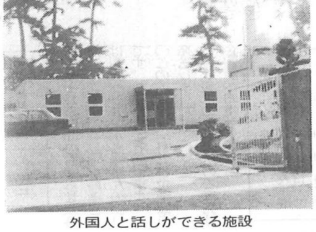
国際電信電話（株）二宮海底線中継所

二宮駅の南口からまっすぐに海岸に向かい、電電公社の裏を西に向かってしばらく行くと、左側に国際電信電話株式会社二宮海底線中継所があります。

この施設は昭和三十八年七月三十一日に竣工し、翌三十九年六月十九日より業務を開始しました。昭和三十年代ころまでの国際通信は、おもに短波無線によっておこなわれていましたが国際交流の活発化とともに国際通信量が増大し、各国に割り当てられた短波の周波数では限界に達してしまいました。そこで新しい通信幹線がのぞまれてきましたが、米国のベル電話研究所で開発された信頼度の高い海底中継器によって、大洋を隔てた大陸間を海底同軸ケーブルで結ぶことができるようになりました。

ここ二宮の中継所は、わが国としては最初の海底ケーブル（第一太平洋横断ケーブル）の陸揚局で、国際通信史上きわめて意義深い施設であります。第一太平洋横断ケーブル（TPC・1）は、日本と外国を結ぶわが国最初の海底同軸ケーブルで、電話線に換算して、百三十八回線の容量で良質な通話が同時にできる高い性能をもっており、二宮からグァム、ウェーキ、ミッドウェイの各島を経てハワイに至るまで、全長九千八百キロメートルの距離に達しています。ハワイからは既存の海底ケーブルに接続して、アメリカ本土、カナダへ、また、グァムから香港、フィリッピン、オーストラリアへそれぞれ接続しています。

二宮が中継所として選ばれたのは、二宮付近の海は海岸から急に深くなっており、船舶の錨や漁具などによるケーブルの損傷が少ないこと、地震に強い地層であること、東京の国際通信センターに近く、国内連絡線の設定が容易なことなどが主な理由です。



外国人と話しができる施設

住民の声

自主防災を他地区でも

原　東三（36歳）

私が二宮町に来ましたのが昭和四十七年ですから、かれこれ九年たちます。

当時、町の第一印象として温暖で、災害、水害などの被害も少なく何かにつけて恵まれているということを記憶しています。

今日、小・中学校の建設、焼却場の新設、駅南口広場の整備などを行政において充実しており、より住み良い町に発展してきていると思います。

また最近特に感じさせられた事に、今まで行政におんぶされていた防災活動に対し、私の住む下町地区では区長さんをはじめとする自主防災組織があり活発に活動していることです。二宮町が東海大地震防災対策強化地域の指定を受けているからという訳ではなく地区みなさんの災害に対する積極的な活動に心を打たれました。

私もこの活動に参加して良かったと思っています。他地区でもぜひ自主防災組織を作り、自分で自分を守る心がけをしてはいかがでしょうか。

また町行政も側面から協力していただき、総ぐるみの防災活動を展開してはどうですか。

スポーツの盛んな町に

二宮三一四番地　大石　尚枝（21歳）

この町に生まれ育って二十年私たちの成長とともに、二宮町もめざましい発展をとげてきました。

そんな中で町の体育施設の建設は、最近特に力を入れて行われています。武道館、山西プールそして町民運動場の建設、計画も着々と進められています。

私も週に一回ママサンバレーの練習に参加しています。何かスポーツをしてみたいと思っていても、実際にしている人は少ないのではないでしょうか。そこで町民運動場の建設が実施し少年野球から老人会のゲートボールまで、町民一人ひとりが何かのスポーツを楽しめるようになったら、健康的すばらしいことだと思います。

施設の建設とともにスポーツのサークルやレクリエーションのグループを作り、二宮町がスポーツの盛んな町になることを望んでいます。

国民健康保険証を窓口に提出してますか

会社の健康保険組合、各種共済組合などの社会保険に加入していない方が、病気やけがをしたとき安心して治療が受けられるために、国民健康保険（以下、国保という）があります。国保に加入しますと、被保険者として一枚の保険者証が交付されます。これは、あなたが国保の被保険者であることの証書ですので、大切に保管してください。

なお出かせぎ、長期旅行、就学などのため他の市町村に住むようになったとき、一世帯に一枚の保険証では間に合いません。このようなときは被保険者のため、特別にもう一枚保険証の交付を受けることができます。

しかし、国保に加入しているからといっても、医療機関にかかるときは保険証が必要です。もし保険証なしで診療を受けると、受診料の全額を自己負担することになります。

ただし次のような場合は、領収書によって払いもどしを受けることができます。

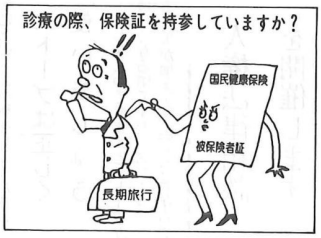
○急病で国保を扱っていない病院へかつぎこまれたとき。

○旅先で病気にかかり保険証を持っていなかったとき等

払いもどされる額は、国保で診療を受けた場合を基準として、その七〇％になります。

また、子どもが生まれたり、被保険者が死亡したりしたときも給付の対象となります。

まだ国保に加入していない方は、早急に加入手続きをすませてください。くわしくは住民課保険年金係（内線二三五）まで。



老人生きがいクラブで会員を募集中！

今日、人口の高齢化が進んでいます。このような状況の中で、働くことによって生きがいを感じ、老後を楽しく健康に過ごそうと思う老人が集まり、事業所、公共団体、一般家庭などから年寄りができる仕事を引きうけ、各人の能力と希望に応じてその仕事に従事し、配分金（仕事の対価）を受ける組織が「生きがいクラブ」です。

生きがいクラブは、自らの経験と能力を生かし、お互いを合せ自分たちの手で運営し、地域社会の理解と協力のもとに仕事に従事し、会員の働く機会を広げていきます。

町内に在住している六十歳以上の健康で働きたいと思われる方は、事務局（☎71－〇六八一）までにお問合せください。なお、主な仕事はつぎのとおりです。

〇一般事務　宛名書き、筆耕、原紙書き、転記、書類整理

〇屋外軽作業　草刈、除草、清掃

〇屋外技能作業　植木、盆栽手入れ

〇屋内軽作業　袋詰、包装、ラベル貼り、新築住宅の清掃

〇外交・調査　集金、配達、調査

〇個人サービス　家事手伝い、留守番、子守り、老人の介護、店番

〇和・洋裁　和・洋裁、手芸

〇教育指導　学習指導、校正と添削

就学通知は届きましたか

来春小学校へ入学する児童は、昭和五十年四月二日から昭和五十一年四月一日までに生まれたお子さんで教育委員会から保護者宛に就学通知書を発送しました。

中旬頃までに通知が届かない場合は教育委員会へご連絡ください。

また、お子さんの健康診断（歯科内科、眼科、耳鼻科）を行いますので必ず受けてください。

健康診断の日程

〇山西小学校　十一月十三日（金）

〇二宮小学校　十一月十七日（火）

〇一色小学校　十一月十八日（水）

受付時間はいずれも午後一時から二時です。

その他　新一年生該当者で転出のため、他校（二宮の小学校以外）へ入学する児童は、前もって町教育委員会へ連絡してください。

なお、その他詳細は就学通知に同封した案内書をご覧ください。

問合せ　町教育委員会学校教育係へ

二宮高校の施設を開放

県立二宮高校では広くスポーツの健全な普及・発展をはかるため、学校教育に支障のない限り地域住民の方々に、体育館、グランド等の施設を開放します。利用希望団体は期日までに登録してください。

❶登録資格

希望団体は責任者（満二〇歳以上）を有し、かつ五名以上の会員を有し営利を目的としない団体であること

❷開放施設・貸出備品

〇屋外施設（グランド、テニスコート、バレーコート）

〇屋内施設（体育館、格技場）

〇貸出備品（各種ネット類、卓球台審判台、サッカーゴール等）

❸開放時間（原則として）

〇屋外施設

（平日）午前五時～七時三十分

（日曜・祝祭日）

①午前五時～七時三十分

②午後二時～六時

〇屋内施設

（平日）午後六時三十分～九時

（日曜・祝祭日）

午後二時～九時

なお、終了時間は清掃・整理後の退場時間とします。

❹登録申込み期限

〇昭和五十六年十一月二〇日まで

（受付時間）午前八時三〇分から午後五時まで

（受付場所）二宮高校事務室

その他、詳細については当局におたずねください。

ゴミは整理して出しましょう

ゴミは毎日たくさんでます。しかし一度に町すべてのゴミを焼却できません。住民一人ひとりが次のことに気をつけ、町の美化衛生にご協力ください。

❶ ゴミは収集日の当日、午前七時～八時までに決められた場所に整理整頓して出してください。

＜ゴミ収集場所の隣り近所に迷惑をかけないよう、収集日以外絶対に出さないでください＞

❷ ゴミは分別して決められたものを出してください。昭和五十六年度二宮町じん芥収集表により、燃えるゴミ【毎日出るゴミ、大きくて燃えるもの】、燃えないゴミ【空カン類、ビン・ガラス類、その他の物】に必ず分別してください。

（ゴミの分別が守られない場合はゴミは収集いたしません）

❸ ゴミはポリバケツ、ダンボール、ビニール袋等に入れ完全にふたや封をしてください。

❹ 水分を含むゴミは十分水切りをしてください。

＜ゴミを出す前に、ちょっと「ひとしぼり」するだけで、多量のエネルギーの節約ができます＞

❺ 悪臭等には十分気をつけ収集後はみなさんで清掃してください。

おしらせ

善意

二宮町善意銀行へ

金二万円　一色　二宮高校文化祭推進委員会一同

二宮　原　貴士さん

金六七六円

二宮　桧山広次さん

金三〇〇〇円

二宮　松本栄治さん

物品（みかん十五キロ）

二宮町社会福祉センターへ

車イス一台　社団法人中郡医師会

昭和五十七年度町職員の募集

昭和五十七年度町職員を募集します。

職　種　一般事務職員

資　格　高校卒業以上で満二十五歳までの男子

（但し、司書又は司書補の資格を有する者は女子も可。この場合も二十五歳まで）

人　員　若干名

受　付　十一月二〇日（金）まで（日曜日及び土曜日の午後は除く）に、町総務課へ履歴書を持参してください。

（但し、郵送の場合は期日までに必着のこと）

申込み　簡易封付の申請書により手続きをしてください。

問合せ　町総務課庶務係へ（内線三一二）

壮年ソフトボール婦人バレーボール大会の開催

壮年と婦人の体力づくりと地域のスポーツ・レクリエーションの普及をはかるために開催します。

とき　十一月十五日（日）

集合八時、競技開始八時三十分

（雨天の場合はバレーボールのみ実施）

ところ

〇ソフトボール　一色小学校

〇バレーボール　山西小学校

〃　二宮西中学校

参加資格　町在住の壮年（三〇歳以上）婦人（既婚者及び三〇歳以上の方）

競技方法　地区別対抗のブロック別トナメント方式

主　催　町教育委員会、体育指導委員連絡協議会

申込み・問合せ　町教育委員会又は各地区体育指導委員

何んでもお気軽にご相談ください

県や町への意見・要望や弁護士専門相談員による法律・交通事故相談、その他一般相談をいたします。お気軽にご利用ください。

とき　十二月二日（水）

午後一時～四時

ところ　二宮駅南口広場

（大型バス相談車）

問合せ　県湘南地区行政センター県民相談室（☎22－二七一一）

年末調整の仕方等に関する税務説明会

昭和五十六年分年末調整の仕方と法定調書及び給与支払報告書の提出について説明会を開催します

とき　十二月二日（水）

午後一時三十分～四時三十分

ところ　社会福祉センター

説明内容

〇年末調整の仕方

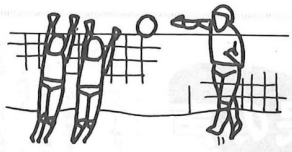
〇源泉徴収票や給与支払報告書の書き方

〇その他の法定調書の提出に関する説明会

その他

支給人員一〇〇名以上の徴収義務者の方は、十一月十二日（木）十三日（金）に、説明会出席票兼用紙請求書を税務署にお渡しいたします。

問合せ　平塚税務署



結婚する前に血液検査を

若い人たちの間に早期の梅毒が増えています。

健康な赤ちゃんを生み、幸福な家庭を築くために、結婚する前に血液検査を受けましょう。

保健所では、婚姻時の血液検査を無料で実施していますのでご利用ください。

とき　毎週月曜日　午前九時～十時三十分

ところ　平塚保健所（☎32－〇一三〇）

読書感想文を募集します

町図書館では第六回読書感想文の募集を次のとおり行いますのでみなさんふるって応募してください。

募集内容

◎　あらゆる本の読書感想文

◎　最初にであった本、最近読んだ本、印象に残った本等について

◎　私の読書法と読書論

◎　その他、テーマは自由

◎　図書館活動に関する意見等

字数・枚数

◎　四〇〇字詰め原稿用紙三～五枚以内（小学生は三枚以内）、黒インクか黒のボールペンを使用

締　切　昭和五十七年一月十一日（月）まで

原稿送り先　町教育委員会（二宮九六一番地）

応募資格　町内在住、在勤、在学の方

表　彰　優秀な作品にはそれぞれ賞状と賞品を、応募された方全員に参加賞を贈ります。

発　表　本紙紙上にて発表

その他

◎　一人一編未発表のもの

◎　枚数の超過は失格です

◎　著作権は主催者に帰属

◎　応募原稿は返却しません

問合せ　町教育委員会図書館係へ（内線三三五）

今月の納期

国民年金保険料　第4期

～11月25日

国民健康保険税　第4期

～11月30日

編集室

〇本紙十月号四面のお知らせ（善意）の記事中、物品、小島孝さんは梨三七五㌔、水島孝さんの誤りです。お詫びして訂正します。

〇この広報は十一月九日企画課を発送しました。

〇「広報にのみや」へのご意見は企画課へお寄せください。

町の人口（人口統計より）

	10月1日現在	前月との比較
人口総数	27,762人	＋33人
男	13,701人	＋19人
女	14,061人	＋14人
世帯数	7,826世帯	＋9世帯